

めぐみイエス・キリスト教会

2024年6月30日(日) 第五主日礼拝

午前10時より

週報「通算第713号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌355「主と共に歩む」 p. 568

【交読文】 No.43 詩篇第136篇 p. 913

【賛美Ⅱ】 新聖歌202「一度死にしわれをも」 p. 302

【使徒信条】

【主の祈り】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「主の御前に」

【聖書朗読】 創世記18章17節・20節～33節(旧約p. 26)

【礼拝説教】 《アブラハムの祈り》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所(創世記18章17節・20節～33節)

18:17 【主】はこう考えられた。「私は、自分がしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。」

18:20 【主】は言われた。「ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、彼らの罪はきわめて重い。」

18:21 私は下って行って、私に届いた叫びどおり、彼らが滅ぼし尽くされるべきかどうかを、見て確かめたい。」

18:22 その人たちは、そこからソドムの方へ進んで行った。アブラハムは、まだ【主】の前に立っていた。

18:23 アブラハムは近づいて言った。「あなたは本当に、正しい者を悪い者ととともに滅ぼし尽くされるのですか。

18:24 もしかすると、その町の中に正しい者が五十人いるかもしれませんが。あなたは本当に彼らを滅ぼし尽くされるのですか。その中にいる五十人の正しい者のために、その町をお赦しにならないのですか。

18:25 正しい者を悪い者ととともに殺し、そのため正しい者と悪い者が同じようになる、というようなことを、あなたがなさることは絶対にありません。そんなことは絶対にあり得ないことです。全地をさばくお方は、公正を行うべきではありませんか。」

18:26 【主】は言われた。「もしソドムで、私が正しい者を五十人、町の中に見つけたら、その人たちのゆえにその町のすべてを赦そう。」

18:27 アブラハムは答えた。「ご覧ください。私はちりや灰にすぎませんが、あえて、わが主に申し上げます。

18:28 もしかすると、五十人の正しい者に五人不足しているかもしれませんが。その五人のために、あなたは町のすべてを滅ぼされるのでしょうか。」主は言われた。「いや、滅ぼしはしない。もし、そこに四十五人を見つけたら。」

18:29 彼は再び尋ねて言った。「もしかすると、そこに見つかるのは四十人かもしれませんが。」すると言われた。「そうはしない。その四十人のゆえに。」

18:30 また彼は言った。「わが主よ。どうかお怒りにならないで、私に言わせてください。もしかすると、そこに見つかるのは三十人かもしれませんが。」すると言われた。「そうはしない。もし、そこに三十人を見つけたら。」

18:31 彼は言った。「あえて、わが主に申し上げます。もしかすると、そこに見つかるのは二十人かもしれませんが。」すると言われた。「滅ぼしはしない。その二十人のゆえに。」

18:32 また彼は言った。「わが主よ。どうかお怒りにならないで、もう一度だけ私に言わせてください。もしかすると、そこに見つかるのは十人かもしれません。」すると言われた。「滅ぼしはしない。その十人のゆえに。」

18:33 【主】は、アブラハムと語り終わると、去って行かれた。アブラハムも自分の家へ帰って行った。

●ポイント1. なぜ私たちは主の御名によって祈るのか？

※ヨハネの福音書16章23節～24節「主イエスの言葉」(新約p.219)

16:23 「その日には、あなたがたは私に何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに言います。私の名によって父に求めるものは何でも、父はあなたがたに与えてくださいます。

16:24 今まで、あなたがたは、私の名によって何も求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けます。あなたがたの喜びが満ちあふれるようになるためです。」

◎お知らせ

※次回、7月7日(日)は、一年ぶりに斉藤順子宣教師をお迎えして、宣教特別礼拝となります。松本望美先生と、お二人の共通の友人である、山下奈津子さんが礼拝に参加されます。終了後、簡単な愛餐会を予定しています。お残り下さい。